

3 日頃の備え 運営者編



避難生活が長期化する場合は、みんなで助け合いながらペットを管理することが大切です。

詳細ルール例

給餌、ふれあい

- 時間の指定
- 場所の指定

排せつ場所

- 屋外の場所を指定
- 回収した排せつ物の捨て場所と捨て方

フードの保管場所

- 個別に保管
- 全体で一括

鳴き声対策

- 吠える犬には段ボールやタオルなどで目隠しする
- 係留場所、ケージの場所を工夫する（なるべく動物の刺激が少ない場所）

ニオイの対策

- ペットフードは食べ残したらすぐ片づける
- ペットフードの袋は口をきちんと閉じる
- 排せつ物は必ずビニール袋を二重にして、しっかり縛って捨てる

犬の散歩

- 時間の指定
- 場所の指定
- 他の居住者の動線と交わらないコースを指定

清掃

- お散歩コース
- ゴミの廃棄場所、廃棄方法
- ペット飼育スペースは、担当や方法を決めて定期的に清掃

退去時の清掃

- 飼い主が協力して元の状態に戻し、きちんと清掃し消毒する

毛の対策

- ブラシをかけて良い場所を指定する
- 居住スペースに入る前に粘着ローラーやガムテープで衣類についた毛を取る

〇〇避難所・ペットルール



05 飼い主・地域の方への周知

ペットを受入れる準備ができれば、飼い主や地域の方に周知しましょう。

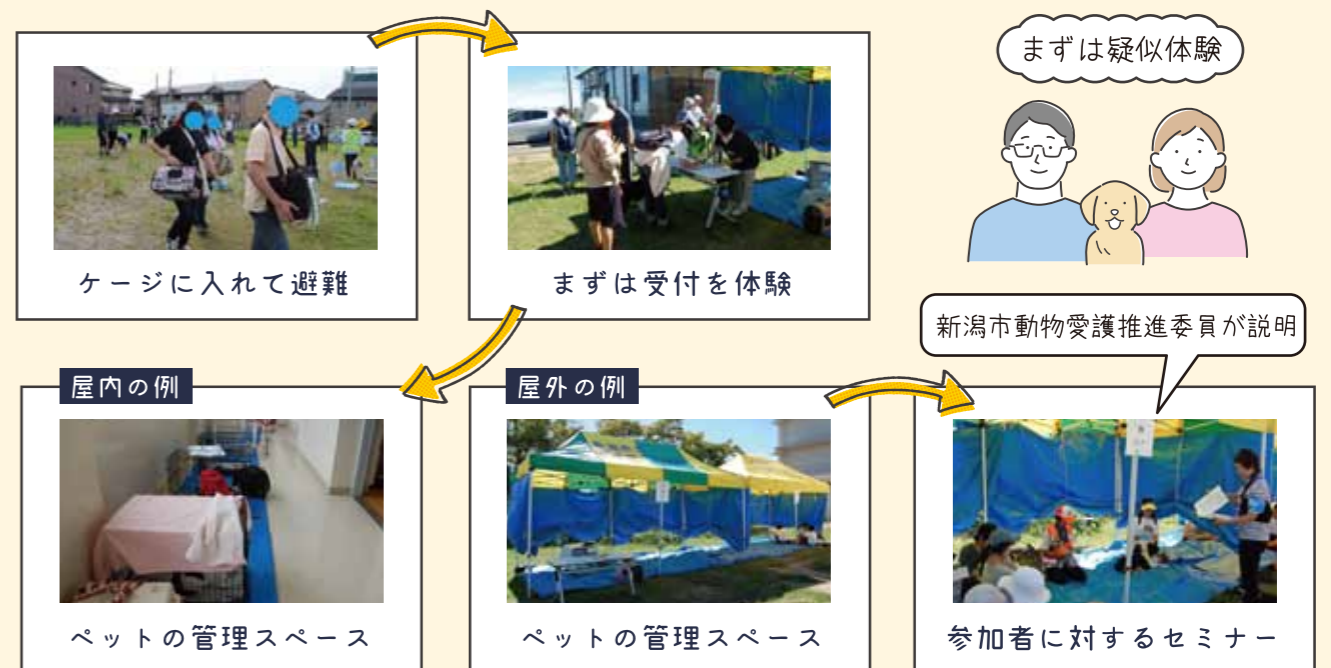
飼い主に避難所の受入れルールや飼育ルールについてあらかじめ知ってもらうことが重要です。



また、避難訓練を行い、意識啓発を図るとともに、参加者から課題を聞き取り、避難対策の内容を見直し、より実践的なものに改善しましょう。

ペット同行避難訓練の一例（新潟市）

ペットと避難してきた飼い主を受入れる疑似体験から始めてみましょう。これにより同行避難の周知にもつながります。



【資料提供：新潟県】